

## ＜2016年度 小学校の重点目標＞

### 1) (民族的なもの)

- 自分の民族に誇りを持てる心を育てる。
- co-teachingの研究を進め、効果的な指導方法を探る。

### 2) (学習面)

- 子どもたちの学力向上をめざす。
- 自分で考え、学級全体の前やグループ内で発表・発信する力を育てる。
- 家庭学習(宿題)の定着のため、家庭との協力を円滑に行う。
- 教育機器整備及び活用のための研修を行う。

### 3) (人権的なもの)

- 子どもたちの成長と社会状況にそって、カリキュラムを作成し、体験学習を行う。
- 他人の痛みが分かる心を育てる。

### 4) (学校生活)

- 進んで努力する子、はきはき元気な子、互いに助け励まし合う子どもを育てる。
- 教員一人ひとりが子ども達の声に耳を傾ける。
- 皆が共に、楽しい学校生活を送れるようマナー向上をはかる。

## 2016年度 建国小学校 学校評価アンケート(低学年1-3年) 結果

A-よくあてはまる B-ややあてはまる C-あまりあてはまらない D-まったくあてはまらない

	A	B	C	D
(1)学校へいくのが、楽しい	52%	25%	19%	4%
(2)えんそくやうんどうかいなどの学校ぎょうじは、たのしい	83%	13%	1%	3%
(3)じゅぎょう中に、すすんではっぴょうしようとしている	28%	41%	24%	7%
(4)じゅぎょうは、たのしい	48%	44%	4%	4%
(5)じゅぎょうの中で、じっけん・かんさつなどをするところがある	49%	29%	15%	7%
(6)先生たちは、わかりやすくおしえてくれる	71%	22%	1%	6%
(7)先生は、ぼく・わたしのはなしをよくきいてくれる	49%	35%	9%	7%
(8)しょうがいのある人やこまっている人たちのことをしることができる。	58%	34%	4%	4%
(9)がっこうは、みんながルールを守って、すごしやすい。	16%	43%	25%	16%
(10)国語(クゴ)のべんきょうや、オリニチュッチェなどはたのしい	80%	16%	3%	1%

## 2016年度 建国小学校 学校評価アンケート(高学年4-6年) 結果

Aーよくあてはまる Bーややあてはまる Cーあまりあてはまらない Dーまったくあてはまらない

	A	B	C	D
(1)学校へ行くのが楽しい	39%	45%	12%	4%
(2)学芸会や運動会、宿泊学習などの学校行事は、楽しい。	70%	25%	5%	0%
(3)授業で自分の考えをまとめたり、指名されて発言したりしている	15%	62%	20%	3%
(4)授業は、わかりやすく楽しい	25%	54%	16%	5%
(5)授業で、実験・観察・体験学習をすることがよくある	25%	51%	23%	1%
(6)先生たちは、困ったとき話をきちんと聞いてくれる	40%	40%	15%	5%
(7)先生たちは皆がきちんとルールを守るよう指導してくれる。	55%	39%	5%	1%
(8)障がいのある人たち、困っている人たちにどう接したらよいか学習する機会がある。	46%	40%	13%	1%
(9)学校で、地震や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればよいか教えてもらい、訓練している	67%	28%	4%	1%
(10)民族の言葉、歴史・文化などの学習は楽しい。	37%	42%	15%	6%

## 2016年度 建国小学校 学校評価アンケート (保護者) 結果

保護者アンケート回収率 81 %

Aーよくあてはまる Bーややあてはまる Cーあまりあてはまらない Dーまったくあてはまらない

	A	B	C	D	
全般	1 学校は教育方針や行事、健康指導などの情報をきちんと伝えている	46%	50%	3%	1%
	2 学校はICTを活用するなど、授業向上のための研鑽に努めている。	33%	58%	7%	2%
学習	3 授業はわかりやすく、楽しいようだ	38%	46%	13%	3%
	4 学校は子どもの学力向上に力を入れている	36%	46%	15%	3%
環境 安全	5 学校の施設・設備は学習環境の面で満足できる	44%	50%	6%	0%
	6 学校は子どもの安全管理・安全指導に力を入れている	43%	46%	11%	0%
学校 生活	7 学校の雰囲気がよく、子どもが生き生きしている	46%	44%	7%	3%
	8 学校はきまりやマナーなど、適切な指導をしている	46%	38%	15%	1%
人権	9 学校は、子どもの人権を尊重し、いじめなどの人権侵害を許さない姿勢で指導に当たっている	39%	47%	11%	3%
	10 授業などを通じ、支援を必要とする人たちの立場を学び考える機会がある。	42%	48%	9%	1%
民族	11 民族的な学習や行事を通して、民族教育の充実に力を入れている	61%	39%	0%	0%
保護者との 連携	12 学校は保護者の相談に適切に応じてくれる	50%	39%	9%	2%

1. めざす学校像 私立学校の自主性と民族学校としての特殊性を十分に生かし、知・徳・体の円満な発達を期する  
 民族の矜持と国際社会に適応できる豊かな能力を持ち、将来、民族社会に貢献できる有能な  
 人材を育成する

1. 在日韓国人としての自覚と矜持を涵養する  
 2. 中期 2. 国際社会に主体的に適応できる能力を育てる  
 的目標 3. 自主的な生活実践を通して社会に奉仕する人間を育成する  
 4. 個性を伸ばし、創造性を育てる

3. 本年度重点目標及び自己評価

本年度重点目標		評価指標 (学校評価 アンケート)	自己評価	改善策
1. 民族的なもの	・自分の民族に誇りを持てる心を育てる。	項目 低学年 10 高学年 10 保護者 11	自分の民族に誇りを持てる心を育てるための国語教育やその他の民俗的行事については、保護者からは大変よい評価を頂きました。また昨年度から行われているco-teachingの対象となっている低学年では、国語の勉強や民族的な行事に対する評価が高くなっています。一方、高学年では韓国語の授業を負担に感じている児童が少なからずいるという結果となりました。	学習面での取り組みの困難さはありつつも、子どもたちが韓国語を身につけることの大切さを自覚し、主体的に取り組んでいけるよう、クラス編成の含め、教材研究を行い、効果的な指導方法を探って行きたいと考えます。
	・co-teachingの研究を進め、効果的な指導方法を探る。			
2. 学習面	・子どもたちの学力向上をめざす。	項目 低学年 2,3,4,5,6 高学年 2,3,4,5 保護者 2,3,4,5	学芸会や、運動会といった行事的な活動は95%近くの子どもたちが楽しいと感じている一方、教室での授業については、学年が上がるにつれて、困難を感じる子どもたちが増えていることが見て取れます。授業の指導法の更なる研鑽が必要であると感じます。	一斉授業以外に、習熟度別指導や、入り込み、個別指導といった指導方法も視野に入れた検討が必要であると考えます。また2020年の指導要録改訂に伴い、子どもたちが「何を知っているか」だけではなく、「知っていることを使ってどのように社会とかかわっていくか」従来の知識・技能にくわえ表現力や意思伝達能力の重要性が増してきます。今後、より一層、ICTを活用するなどして、子どもた
	・自分で考え、学級全体の前やグループ内で発表・発信する力を育てる。			
	・家庭学習(宿題)の定着のため、家庭との協力を円滑に行う。			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育機器整備及び活用のための研修を行う。</li> </ul>			<p>ちに発信力をつけるような授業ができるよう創意工夫をしていきたいと考えます。</p>
3. 人権的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの成長と社会状況にそって、カリキュラムを作成し、体験学習を行う。</li> </ul>	<p>項目 低学年 8 高学年 8 保護者 9,10</p>	<p>9月に人権教育推進月間をもうけ、子どもたちの成長に合わせ、さまざまな支援を必要とする人、困っている人たちについて学習してきました。</p>	<p>自分と違う他を認め、他人の痛みが分かる人に成長できるよう、地域の方々との連携を深め、より一層、内容の充実を図っていききたいと考えます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人の痛みが分かる心を育てる。</li> </ul>			
4. 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで努力する子、はきはき元気な子、互いに助け励まし合う子どもを育てる。</li> </ul>	<p>項目 低学年 1,6,7,9 高学年 1,6,7,9 保護者 1,7,8,12</p>	<p>1番の項目の「学校に行くのが、楽しい」の低学年のC,D評価の割合が多いのが気になるところです。ただ2番や4番(行事や、授業は楽しい)と照らし合わせて考えてみると、学校は楽しいが、「朝早く起きて、学校に行くことが大変だ」といったことなどが含まれているように思われます。</p>	<p>これまで以上に校務の合理化を図る等して、子どもたちと向き合う時間をしっかり確保していきたいと考えます。またクラスのルール作り、学校のルール作りにも工夫を凝らし、皆が楽しいと思える学校となるよう研鑽を積んできたいと考えます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員一人ひとりが子ども達の声に耳を傾ける。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆が共に、楽しい学校生活を送れるようマナー向上をはかる。</li> </ul>			

## 2016年度 建国小学校 学校関係者評価

日時：2017年3月4日(土) 17時半～19時

参加者：教 頭 黄裕錫先生 P T A会 長 金順子

教務主任 梁真規先生

副会長 盧永全

保護者 崔真希

文慈延

◎教員自己評価に沿って教務主任より説明をいただきながら考察を進めていきました。

### 1. 民族的なものについて

児童・保護者ともに満足度が高いアンケート結果となりました。

保護者は運動会や学芸発表会を通して、民族的学習成果を十分に感じている結果だと思います。

クゴ教育に対する単独アンケート項目はありませんでしたが、委員会では主にクゴ教育についての話をしました。

co-teaching 対象の低学年において、韓国から来た子どもたちに対してはむしろ、個別にフォローするような形態になっていたとの報告がありました。本来の趣旨とは離れるものの学習支援という意味では有効であったと思われます。

また、クゴにまだなじみのない子どもにとっても、教室の中でクゴを聞く機会が増えると思いますので、是非今後とも続けてほしいと思います。

高学年では、クゴに対して負担を感じている子どもが少なからずいるという結果に対して、「取り組みのしんどさ」だけが原因ではなく、在日班のクゴの班分けが一貫していなかったことにもあるのではと指摘しました。

それぞれの学年で、子どもたちが成果としての達成感を持てるようなカリキュラムの研究・実施をお願いいたします。

### 2. 学習面

児童・保護者ともに高評価が出ていますが、やはり、高学年になるほど消極的な意見が多くなっていることが気になります。

グループ発表や隣同士で教えあうことにより自信がつくように指導しているのに加え、自己評価にあげられているような「習熟度別指導、入り込み、個別指導」の検討をしていると説明を受けました。

授業の中で学習したことが子どもたちに定着できるよう、授業体制の具体的な検討をお願いします。指導要録改訂により、ますます今までとは違った指導法が必要となります。「知っていることを使って社会とかかわっていく方法」や、アクティブラーニングをどう指導するのか。様々な教員研修への参加を通じ、先生方の表現力・指導力のスキルアップをお願いいたします。

### 3. 人権的なもの

児童・保護者ともに前向きな評価となっていますが、委員会として、アンケート項目に『友達との関係について』がなかったことを指摘しました。身体的に困っている人に対してどう接するべきなのかは体験授業を通してしっかり学んでいる様子ですが、身近に困っている友達に対してどうしているのか、保護者として不安があることをお伝えしました。

#### 4. 学校生活

児童・保護者ともに悪い評価ではありませんが、是非、A 評価が多くなってほしい項目です。教員自己評価にもあるように、先生達が校庭で子どもたちと遊んだり、作業をしたりして過ごしている姿をよく見かけます。「早起きして学校に行くのが大変」なのが吹き飛ばすくらい、これからも子どもたちと過ごす時間を多く取っていただきたいと思います。

低学年（9）と高学年（7）でアンケートでのニュアンスが違っており、高学年においてルールを守ろうとする意識があるのか、また守られているのかどうか、わからないことを指摘しました。

また、高学年アンケート（9）に対する教員考察が欲しかったとの意見が出ました。

※低学年アンケート（9） がっこうはみんながルールを守って、すごしやすい。

高学年アンケート（7） 先生たちは皆がきちんとルールを守るよう指導してくれる。

高学年アンケート（9） 学校で、地震や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればよいか教えてもらい、訓練している

#### ◎総括

学校評価アンケートでは、児童・保護者ともに、学校に対して概ね満足している結果となりました。これからもそれに安心することなく、先生方は子ども達や保護者の意見に耳を傾け、少しの不満をも解消しようと検証し、今後の改善策を立ててください。

委員会の中で保護者として先生方にいろいろなお願いをしましたが、どの項目にも共通することは、先生方の今以上のスキルアップが必要だということではないでしょうか。研修や研究授業などに足を運び、学んだことをどんどん子ども達に還元していただきたいものです。しかしながら現在の状況は、昨年度の委員会からも指摘があるように、人的な余力がないように思われます。

先生方が授業に支障をきたすことなく無理なく研修を受け、学習指導のみならず、人権問題、生活指導面などの質の向上を図れるよう、教員の人的補強を強く希望します。